

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年9月6日

事業所名:ミリミリ西馬込

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点	改善内容又は改善目標
環境・ 体制・ 整備	① 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	0	1		整理整頓に心がけ安全に活動ができるような空間づくりをしていく。
	② 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3	1	1	できれば療育スタッフはマンツーマンで担当できると良い。	医療ケアが多い児、動きの多い利用児がいる日は、1対1で対応をし安全確保に努めている。
	③ 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	4	0	0		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	0	0		6月に西馬込に移転をし活動スペースが更に広がった。定期的な環境整備をして、心地よい活動空間になるように努めていく。
	⑤ 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	1	0		今後、必要があれば個別対応が出来るスペース確保は可能にて臨機応変に対応していく。
業務改善	⑥ 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	1	0		全スタッフが集まることは難しく、不参加のスタッフへは議事録を確認するように促している。
	⑦ 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	1	2	評価内容を職員に周知する。	HP上に公開している。
	⑧ 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	2	0		自己目標面談実施時に、意見回収は行っているが、業務改善について不十分であった。今後、改善すべき点をスタッフと共有していく。
	⑨ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	1	6	2		外部調査は未実施。
	⑩ 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	1	1	外部研修などは各個人に委ねており、研修の希望があれば管理者に相談し勤務調整をしている。	事業所内、法人全体での勉強会の実施。研修参加の希望があれば、勤務調整実施。
適切な 支援の 提供	⑪ 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	3	0	できるだけ工夫はしているが、利用者様がどの様に感じているかが不明。	保護者のご意見では、季節に合わせたプログラムの実施を評価頂いている。
	⑫ 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1	3	0	日々の振り返りの中で、保護者のニーズや課題は共有しているが非常勤スタッフは会に参加できない者もいるので、今後共有の仕方に工夫が必要。	SNS利用を含む、共有方法の検討。
	⑬ 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	1	0	定期的な支援会議を実施。	支援者の発言しやすい環境を整え、児にとつての最善な個別支援計画が立案出来るようなシステムを構築していく。
	⑭ 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	3	0	0		
	⑮ こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	3	0	0		
	⑯ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	2	0	0		
	⑰ 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1	0	0		
	⑱ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1	0	0		

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年9月6日

事業所名:ミリミリ西馬込

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点	改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	⑱ こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	1	0	0		
	⑲ 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	0	0		
	⑳ 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	0	0	0	当日、参加出来なかったスタッフにも共有すべきことはSNSを活用し情報共有をしている。	
	㉑ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	1	0		日々の支援に関して記録はとって、必要時検証・改善について振り返りの中で話しあっている。
	㉒ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	2	0	定期的な支援会議を事業所スタッフ間でやっている。当日、不参加の場合も情報共有をして見直しをはかっている。	
関係機関 や保護者との 連携	㉓ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	3	1	0		移転後に児童発達管理責任者を交替しており、その後担当者会議の参加はなし。必要に応じてしっかりと申し送りを行い、会議に参加出来る様に努める。
	㉔ 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	1	0		移転後、間もないため今後連携をはかっていく。
	㉕ 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	1	1		移転後、間もないため今後連携をはかっていく。
	㉖ 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	2	0		特別支援学校との連携や区の就学担当との情報共有をはかっている。
	㉗ 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	3	2		移転後、間もないため今後連携をはかっていく。
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2	0	6	移転に伴い、交流の機会がまだない。今後、交流出来る機会を設けていきたい。	
	㉙ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	0	0		
	㉚ 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	2	6	1		今年度、6月に開催した保護者懇親会の中で就学や食中毒についての勉強会と情報共有を実施。今後も定期的にこのような機会を設けていくよう年間計画を企画していく。
保護者への 説明責任等	㉛ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0	0		
	㉜ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	2	0		年4回事業所内の通信発行、事業所合同行事等の通信発行、月間スケジュール毎月発行をSNSを活用し実施。
	㉝ 個人情報の取扱いに十分注意している	10	0	0	0		
	㉞ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	1	0	0		
	㉟ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1	1	0		移転後、間もないため今後連携をはかっていく。
	㊱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0	1	0		定期的な避難訓練、災害時伝言ダイヤルの訓練等を実施。
	㊲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	0	0		
㊳ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	10	0	0	0			

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年9月6日

事業所名:ミリミリ西馬込

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点	改善内容又は改善目標
④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0	0	0		
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	0	0		
非常時の 対応	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	0	0		
	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	0	0		
	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	0	0		
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	0	0		
	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	0	0		
	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	0	0		
	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	0	0		
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	0	0		
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0	1	0		身体拘束が必要な児がいる場合には、保護者への十分な説明を行い同意のもと実施。また、その際には必要な書類にサインを頂き個別支援計画にもその旨を記載している。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。